

令和5年度 年間授業計画

都立第一商業高等学校

教科・科目	経済活動と法	単位数	対象学年・組	3年Y選択 A組～F組
教科書 使用教材	実教出版 「経済活動と法 新訂版」	教科担任		

1. 目標

- ・ビジネスに関する法規について、実務に即して、体系的・系統的な理解をする。
- ・法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する。
- ・ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む。

2. 学習内容と学習上の留意点

学期	指導内容	具体的な指導目標	学習上の留意点	予定時数
1 学期	1 経済社会と法	1. 変化発展する経済社会と法	○法が生活とどのようにかかわっているか、法の目的や役割などの基本的なことを理解する。 ○経済活動を営むうえで、重要な財産権をめぐる権利・義務 ○生活のすべてが契約によって支えられていることを理解する。	16
	2 権利・義務と財産権	1. 権利・義務とその主体 2. 物と財産権 3. 知的財産権 1. 財産権の分類 2. 物の売買 3. 物の貸借		
	3 財産権と契約そしてその保護	4. 契約によらない財産権の変動 5. 財産権の保護		
2 学期	4 企業活動に関する法	1. 企業活動の主体 2. 営業活動の自由と制限 3. 株式会社と法	○企業の活動を法律の面から理解して身近なものとして理解する。	26
	5 取引に関する法	1. 手形・小切手と法 2. 金融取引	○決済の様々な手段やあり方の注意点など取引の決済を理解する。	
3 学期	6 企業の責任と法	1. 法令遵守 2. 消費者と法 3. 労働と法 4. 紛争の予防と解決	○社会生活を支える経済活動の中心に、企業があり、雇用問題があり、それらにかかわる法があることを理解する。	8

配当時間は一応の目安であり若干の増減はある。

3. 授業を受ける上での注意

チャイム着席(教科書、筆記用具等準備ができている)、締め切り厳守、ノート・プリントの整理

4. 評価の観点・方法

提出物、定期考査、授業態度等

知識・技術、思考・判断・表現、主体的に学びに取り組む態度の3観点で総合的に評価する